

「禁止犬種」を飼育する影響 「犬に噛まれた少女」の4大問題点

环球网健康 health.huanqiu.com 2023-10-18 16:01 来源：央广网

10月16日、四川省成都市にある崇州市のある集落で、2歳の女兒がロットワイラー犬に押し倒された上に噛まれ、腎臓挫傷と裂傷を負ったことが注目を浴びた。CNRも（宮本注：中央人民廣播電台というラジオ局です）引き続き今回事件の進展に注目するとともに見解を表明している。

10月17日、四川省崇州市聯合工作グループが「調査により、10月16日午前7時20分に事件を引き起こしたイヌ2頭が事件発生地区に侵入、同8時頃に傷害事件が発生したということが判明した。もう一頭白いラブラドル犬は8時20分に現場で捕獲されたが、イヌの飼い主である賈何某は21時頃に現場に到着。22時ごろ、人を傷つけた黒いロットワイラー犬が捕獲され；10月17日3時ごろ、飼い主の唐何某が現場に到着した」と発表した

この事件において、イヌの飼い主や土地の管理者はどのような責任を負わねばならないのか？「飼育禁止の犬種」を飼うとどんな結果があるのか？犬を屋外に連れて行く場合、どのような規定に従わねばならないのか？これらに関し、記者が関係弁護士に説明を求めてインタビューを試みた。

ポイントⅠ：

飼い主にはどのような責任があるのか？

報道によると、10月16日午前8時20分、事件に巻き込まれた白いラブラドル犬が現場で捕獲され、同21時頃、犬の飼い主賈某が現場に到着したという。10月17日午前3時頃、黒いロットワイラーの飼い主、唐某が事件現場に到着した。現在、警察は事件捜査を立件のために捜査をするとともに、黒いロットワイラー犬の飼い主である唐某を法律に基づく刑事強制措置を講じている。

民法第1245条によると、飼育動物が他人に損害を与えた場合、動物の飼育者または管理者は不法行為責任を負わねばならない；ただし、損害が侵害された当事者の故意または重大な過失により引き起こされたことが証明できる場合、責任は免除または軽減されることがあるとある。

北京京師弁護士事務所のパートナー、李宝蓮弁護士は、イヌの飼い主が、飼い犬が他人に危険を及ぼす可能性を予見しながら、回避できると軽信、或いは危険を予見すべきであったにもかかわらずそれを怠った場合には重過失傷害罪が成立する可能性があると分析する。刑法第235条によると、過失により他人に重傷を負わせたものは、3年以下の有期懲役または拘留に処される。本法律に別段の定めがある場合、その規定が優先されるものとする。

李宝蓮弁護士は「イヌが以前に何度も他人を攻撃していたにも拘わらず、飼い主がイヌを放置して社会の不特定の人々の公衆安全を危険にさらした場合、広州安全に危害をもたらした罪が成立するおそれがあります」と述べた。

河南澤權弁護士事務所の付建所長は、民事ではもしイヌの飼い主がリードを使わず、その飼い犬が人を噛んだ場合、イヌの飼い主は被害者に対し医療費補償を含む民事責任を負う必要があるがこれには被害者の治療費や精神的損失補償などが含まれると述べた。また、動物防疫法では飼い主はイヌが他人に危害を加えぬよう対策を講じねばならないと規定されている。イヌの飼い主がこれらの義務を履行しない場合、相応の管理責任を負わなければならない場合がある。

ポイントⅡ：

物業所有者（中国語における物業とは『（すでに建設され使用されている）地所財産, 不動産』を指します。なので、日本語の物業所有者、物業管理者は一般的には不動産所有者、不動産管理者ということになります）には責任を取らねばならないのか？

インターネット上に出回った監視カメラ映像では、10月16日午前8時ごろ、崇州市の某小区（中国語の小区とはマンションや自治会などのあるコミュニティのことです）にある建物の前で黒いロットワイラー犬一頭が約1分間にわたり絶えず徘徊していた。8時2分35秒、母親の鄧さんが娘の唐さんを小区の

ビルから連れ出すと、すぐに黒いイヌが娘を取り囲み唐さんに噛み付いて40秒以上にわたり、芝生に引きずり込んだ。その間、白いラブラドルレトリバーが周囲を取り囲んだが、攻撃はなかった。地面に倒された鄧さん（母親です）は必死にわが子を守ろうとしたが成功しなかった。最後に、清掃員がモップを使いこのイヌを追い払った。

民法第1198条では：「ホテルやショッピングモール、銀行、駅、空港、スポーツ会場、娯楽場などのビジネス会場や公共の施設の運営者や管理者または大規模な活動の主催者が、安全保障義務（日本の安全配慮義務は企業が従業員の健康や安全を確保するものですが、こちらは関係する周囲の人たちの健康や安全を確保するという広めの定義になっています。以下『安全配慮義務』と訳出します）を果たさず、他人に損害を与えた場合、この不法行為責任を負うものとする。第三者の行為により他人に損害を与えた場合、第三者は不法行為責任を負い；運営者や管理者、或いは主催者が安全配慮義務を履行しなかった場合、第三者は相応の補足責任を負うものとする。運営者や管理者、或いは主催者は、補足責任を負った後、第三者から賠償金を回収できる」と規定されている。

付建所長は、小区の物業管理会社にはイヌによる咬傷を防ぐ措置を講じるなど、地域社会の安全と秩序を確保する責任があると考えている。小区の物業管理会社が必要な安全対策を講じない、或いは違法なイヌの飼い方を管理できずイヌの噛みつき事件が発生した場合、小区の物業管理会社は相応の法的責任を負わねばならないことがある。物業管理会社が相応の賠償を行った後、同社がイヌの飼い主を相手に追徴賠償権を求める権訴訟を起こすことも可能だ。これは、被害者が一度に複数の責任主体に賠償請求できるようにするためのものだ。

ポイント III：

「飼育禁止の犬種」を飼うとどんな結末に？

報告書によると、少女を噛んだのはロットワイラーだという。公開情報からは、ロットワイラーはイヌ科に属する動物で、頑丈な体や素早い動作、勇猛果敢さから、世界で最も勇敢で力の強い犬種の一つと考えられている。

現在、我が国では各地で都市飼い犬に関する管理条例が公布されているのだが、具体的な飼い犬の詳細については、省や自治区、直轄市の人民政府が制定することになっており、イヌの飼育に関する規定における、禁止飼い犬や飼育制限なども異なっている。

記者の調査により、北京、上海、杭州などの都市では、ロットワイラーが「飼育禁止犬」として明確に明示されていることが判明した。『重慶市イヌの飼育管理条例』および重慶市農業農村委員会と重慶市公安局が制定発布した『飼育が禁止される獰猛なイヌ、攻撃的な犬種のカテゴリーリストと大型犬の基準に関する重慶市通知（試行版）』によると、ロットワイラーは重慶市の一般管理区域と主要管理区域で禁止されている。

だが、ロットワイラーは成都市の禁止犬リストには載っていない。記者が『成都市イヌの飼育管理条例』を確認してみたところ、飼育が禁止されている凶暴な大型犬22種類は規定されているが、（そこには）ロットワイラーは記載されていなかった。

李宝蓮弁護士は、ロットワイラーは禁止犬種リストには載っていないが、「成都市イヌの飼育管理条例」第21条には、個人が攻撃的な犬や大型犬を飼育することを禁止する一般規定があると述べた。彼女は、各地のイヌの飼育管理条例を基に、「禁止されている犬種」の飼育や規定に沿わずにイヌを飼育するとイヌは公安機関に強制的に収容されるとともに、単位（一般に協会や会社、法人、パートナーシップ、政府機関、大学またはその他の組織の総称、英文契約でよく使われる『Entity』のようにとらえて下さい）に500元以上2000元以下の罰金が科せられ、個人には以下の罰金が科せられる。50元以上200元以下の罰金に処せられる」としている。

付建所長は、「事件を起こした犬が捕獲された場合、関係の法律や法規に基づき、隔離や観察、鑑定、治療等の措置が講じられる場合があり、重大な場合には公安機関に強制的に保護される場合がある。具体的な処理方法は現地の法律および法規に従って確定されており、無害化処理またはその他関連の処分措置が含まれる場合がある」と語る。

ポイントⅣ

犬を屋外に連れて行く場合、どのようなルールに従わねばならないのか?

『成都市イヌの飼育管理条例』によると、飼い主はイヌをリードでつなぐ或いは柵に囲って飼育するなど適切に管理せねばならず；屋外に連れ出す際は、犬用ケージや犬用バッグに入れる、或いは社会的行為に十分な能力のある人がリードを使用してコントロールせねばならないとある。

「飼い主の安全意識が追いつかず、イヌの危険性を過小評価し、それが悲劇につながった。」ある警察関係者は言い、各地でイヌの飼育に関する規制が出されてはいるが、イヌの飼い主の関心を集めていないため、飼育に関する知識の宣伝教育を強化する必要がある、具体事例を通じて犬の飼い主が悲劇の再発生を防がねばならないと述べている。

北京京師弁護士事務所の劉奇奇弁護士は、犬を家から連れ出す最も基本的な原則は、他人に危険を与えないことだと語った。したがって、イヌを運ぶ人は十分な民事行為能力を持ち、またイヌにドッグタグと口輪を付け、犬用リード（鎖）で犬を制御し、積極的に他人を避けねばならない。また、使役犬や盲導犬以外のイヌを公共交通機関にのせたり、学校や病院、ショッピングモール等の犬禁止の標識が設置されているエリアに立ち入らせたりしてはならない。

付建所長は、小区の物業管理会社は、健全な管理制度を確立し、小区内の違法な飼育行為の監督と処罰を進め、小区の安全と秩序を確保せねばならない。イヌ飼育の管理監督を強化し、国民の安全意識を強化することで、イヌによる咬傷事件の発生を最小限に抑えてゆかねばならないと考えている。

出典：中央人民広播電台総合

記者：郭佳麗

<https://health.huanqiu.com/article/4EzWwej2A8v>

What are the consequences of raising a "forbidden dog breed"? Lawyers explain the four major issues in "girl bitten by dog"

Global Network Health health.huanqiu.com 2023-10-18 16:01 Source: CNR Network

On October 16, a 2-year-old girl in a community in Chongzhou City, Chengdu, Sichuan, was knocked down and bitten by a Rottweiler, causing kidney contusion and laceration. CNR is also continuing to pay attention to the progress of this incident and express its views.

On October 17, the Sichuan Chongzhou Joint Working Group issued a notice saying, it was found that at 7:20 on October 16, the two dogs involved ran into the community where the incident occurred, and an injury incident occurred at about 8:00. At 8:20, the white Labrador involved was captured at the scene, and the dog owner, Jia, arrived at the case at about 21:00. At about 22:00, the black Rottweiler that injured someone was captured; at about 3:00 on October 17, the owner of the black Rottweiler, Tang, arrived at the case.

What responsibilities do dog owners and property owners need to bear in this incident? What are the consequences of raising "forbidden dog breeds"? What rules should be followed when taking dogs outdoors? The reporter interviewed relevant lawyers for interpretation for these questions.

Point I

What responsibilities do dog owners have?

According to the report, at 8:20 on October 16, the white Labrador dog involved was captured at the scene. At around 21:00, the owner of the dog, Jia, arrived at the case. At about 3 o'clock on October 17, Tang Mou, the owner of the black Rottweiler, arrived at the case. At present, the police have opened a case for investigation into the incident and have taken criminal coercive measures against Tang, the owner of the black Rottweiler dog, in accordance with the law.

According to Article 1245 of the Civil Code, if a raised animal causes damage to others, the animal breeder or manager shall bear tort liability; However, if it can be proven that the damage was caused intentionally or by gross negligence of the infringed party, liability may be waived or reduced.

Lawyer Li Baolian, a partner at Beijing Jingshi Law Firm, analyzed that, if the owner of the dog foresees the possibility of the dog endangering others, but is gullible to avoid it, or should have foreseen the danger but failed to do so, this may constitute the crime of negligent causing serious injury. According to Article 235 of the Criminal Law, anyone who negligently injures others and causes serious injury shall be sentenced to fixed-term imprisonment of not more than three years or criminal detention. If this law provides otherwise, the provisions shall prevail.

"If the dog has attacked others many times before, but the dog owner still lets it go, endangering the public safety of unspecified people in society, it may constitute a crime of endangering public safety." Li Baolian said.

Fu Jian, director of Henan Zejin Law Firm, said, in terms of civil matters, if the dog owner does not have a leash and the dog bites someone, the dog owner needs to bear civil liability, including compensation for the victim's medical expenses, mental losses, etc. In addition, according to the Animal Epidemic Prevention Law, dog owners should take measures to prevent dogs from harming others. If the dog owner fails to fulfill this obligation, he may have to bear corresponding administrative liability.

Point II:

Does the property owner need to take responsibility?

A surveillance video circulated on the Internet showed that at around 8:00 on October 16, a black Rottweiler dog was wandering and lingering in front of a building in a community in Chongzhou City for about 1 minute. At 8:02:35, mother Deng took her daughter Tang out of the community building. The black dog immediately surrounded her and bit Tang, dragging her to the lawn for more than 40 seconds. During this period, a white Labrador retriever surrounded the area but did not attack. Deng, who fell to the ground, had been trying to protect the child, but failed. Finally, a janitor used a mop to drive the dog away.

Article 1198 of the Civil Code stipulates: "Operators and managers of hotels, shopping malls, banks, stations, airports, sports venues, entertainment venues and other business venues and public places, or organizers of mass activities, fail to fulfill their safety guarantee obligations, and those who cause damage to others shall bear tort liability. If damage is caused to others due to the behavior of a third party, the third party shall bear tort liability; if the operator, manager or organizer fails to fulfill the safety guarantee obligations, the third party shall bear corresponding supplementary liability. After the operator, manager or organizer assumes supplementary liability, it may recover compensation from the third party."

Fu Jian believes that the community property management company has the responsibility to ensure the safety and order of the community, including taking measures to prevent dog bites. If the community property management fails to take necessary safety measures, or fails to manage illegal dog-keeping behavior, leading to dog bite incidents, the community property management company may bear corresponding legal liability.

Li Baolian said that the property management company has safety guarantee obligations. If the community property management company fails to take necessary safety measures or fails to manage illegal dog-raising behavior, it must bear additional responsibilities. After the property has paid the corresponding compensation, it can also file a right-of-recovery lawsuit to demand compensation from the dog owner. This is to ensure that victims can claim compensation from multiple responsible entities at the first time.

Point III:

What are the consequences of raising "forbidden dog breeds"?

According to the report, the one who bit the girl was a Rottweiler. Public information shows that the Rottweiler is an animal belonging to the Canidae family. It has a strong body, fast movements, and powerful momentum. It is considered to be one of the most courageous and powerful dog breeds in the world.

It is reported that at present, cities across China have promulgated urban dog breeding management regulations. Since the specific dog breeding regulations are formulated by the people's governments of provinces, autonomous regions, and municipalities directly under the Central Government, the regulations on dog breeding bans and dog breeding restrictions are also different.

The reporter's investigation found that in cities such as Beijing, Shanghai, and Hangzhou, Rottweilers are clearly marked as "forbidden dogs." According to "Chongqing City Dog Breeding Management Regulations" and "Chongqing City Notice (trial version) regarding the category list of ferocious dogs and aggressive dog breeds whose breeding is prohibited and the standards for large dogs (trial)" established and promulgated by Chongqing Municipal

Agriculture and Rural Affairs Committee and Chongqing Municipal Public Security Bureau, Rottweilers have been banned in Chongqing's general management areas and key management areas.

However, Rottweilers are not on the list of banned dogs in Chengdu. The reporter checked the "Chengdu Dog Breeding Management Regulations" and found that it stipulates 22 types of violent and large dogs that are prohibited, but there is no Rottweiler.

Li Baolian said that although Rottweilers are not on the prohibited list, Article 21 of the "Chengdu Dog Breeding Management Regulations" has general provisions that prohibit individuals from raising aggressive dogs and large dogs. She said that according to local dog breeding management regulations, "If you raise "forbidden dog breeds" or do not follow regulations, the dogs will be forcibly taken into custody by the public security organs, and the unit will be fined not less than 500 yuan but not more than 2,000 yuan, and the individual will be fined not less than 50 yuan but not more than 200 yuan."

Fu Jian said, "If the dog causing the accident is caught, according to relevant laws and regulations, measures such as isolation, observation, identification, and treatment may be carried out. In serious cases, the dog will be forcibly taken into custody by the public security organs. The specific treatment method will be determined according to local laws and regulations, and may include harmless treatment or other corresponding treatment measures."

Point IV:

What rules should be followed when taking dogs outdoors?

According to the "Chengdu Dog Breeding Management Regulations", dog owners should tether or keep dogs in captivity and properly manage the dogs; When taking a dog out of the house, the dog should be put into a dog cage, a dog bag, or led by a person with full capacity for civil conduct using a dog leash.

"The safety awareness of dog owners cannot keep up and they underestimate the danger of dogs, which leads to the tragedy. " A police source said that although some regulations related to dog breeding have been issued in various places, they have not attracted the attention of dog owners. The publicity of dog breeding knowledge should be increased and dog owners should be reminded through specific cases to avoid further tragedies.

Lawyer Liu Qiqi from Beijing Jingshi Law Firm said that the most basic principle of taking dogs out of the house is not to cause danger to others. Therefore, it is necessary to ensure that the person carrying the dog has full capacity for civil conduct, hangs a dog tag and muzzle on the dog, leads the dog with a dog leash (chain), and actively avoids others. In addition, do not take dogs other than working dogs and guide dogs on public transportation or enter areas with signs indicating that dogs are prohibited from entering schools, hospitals, and shopping malls.

Fu Jian believes that residential properties should establish a sound management system to supervise and punish illegal dog-raising behaviors in the community to ensure the safety and order of the community. By strengthening the management and supervision of dog breeding and enhancing the safety awareness of the public, we can minimize the occurrence of dog bite incidents.

Source: CNR

Reporter: Guo Jiali

..... 以下是中国語原文

养“禁养犬种”会有什么后果？律师解读“女童被狗咬伤”四大焦点问题

环球网健康 health.huanqiu.com 2023-10-18 16:01 来源：央广网

10月16日，四川成都崇州市一小区2岁女童被一只罗威纳犬扑倒撕咬致肾挫裂伤，引发关注。央广网也在持续关注此事件相关进展，并发表观点。

10月17日，四川崇州联合工作组发布通报称，经查明，10月16日7时20分，两只涉事犬只窜入事发小区，8时许，发生伤人事件。8时20分，涉事白色拉布拉多犬于现场捕获，21时许犬只主人贾某到案。22时许，伤人的黑色罗威纳犬被捕获；10月17日3时许，黑色罗威纳犬主人唐某到案。

在该事件中，狗主人、物业需要承担哪些责任？饲养“禁养犬种”会有什么后果？携带犬只出户应遵守哪些规定？就此，记者采访相关律师进行解读。

焦点一：

养犬人应承担哪些责任？

根据通报，10月16日8时20分，涉事白色拉布拉多犬于现场捕获，21时许，犬只主人贾某到案。10月17日3时许，黑色罗威纳犬主人唐某到案。目前，警方已对该事件立案侦查，并对黑色罗威纳犬主人唐某依法采取刑事强制措施。

根据民法典第一千二百四十五条规定，饲养的动物造成他人损害的，动物饲养人或者管理人应当承担侵权责任；但是，能够证明损害是因被侵权人故意或者重大过失造成的，可以不承担或者减轻责任。

北京京师律师事务所合伙人李宝莲律师分析称，如果狗的主人预见狗存在危害他人的可能性，但轻信可以避免，或者应当预见危害性而未预见，可能构成过失致人重伤罪。根据刑法第二百三十五条，过失伤害他人致人重伤的，处三年以下有期徒刑或者拘役。本法另有规定的，依照规定。

“如果之前狗就发生多次攻击他人的情况，但狗主人依然放任，危及社会不特定人的公共安全，可能构成危害公共安全罪。”李宝莲说。

河南泽槿律师事务所主任付建表示，在民事方面，如果犬主人没有牵绳，导致犬只咬人事件发生，犬主人需要承担民事责任，包括赔偿受害人的医疗费用、精神损失等。此外，根据动物防疫法规定，养狗人应当采取措施，防止犬只伤害他人。如果犬主人没有履行这一义务，可能要承担相应的行政责任。

焦点二：

物业方需要承担责任吗？

网上流传的一段监控视频显示，10月16日8时许，在崇州市某小区一栋建筑物前，一只黑色罗威纳犬不停地徘徊、逗留，走动约1分钟。8时2分35秒，母亲邓某牵着女儿唐某走出小区大楼，黑色犬立刻围上来，并对唐某展开撕咬，将其拖至草坪，长达40多秒。其间，有一只白色拉布拉多犬围在附近，但并未实施攻击。倒在地上的邓某一直试图保护孩子，但并未成功。最后，一名保洁员用拖把将犬只撵走。

民法典第一千一百九十八条规定：“宾馆、商场、银行、车站、机场、体育场馆、娱乐场所等经营场所、公共场所的经营者、管理者或者群众性活动的组织者，未尽到安全保障义务，造成他人损害的，应当承担侵权责任。因第三人的行为造成他人损害的，由第三人承担侵权责任；经营者、管理者或者组织者未尽到安全保障义务的，承担相应的补充责任。经营者、管理者或者组织者承担补充责任后，可以向第三人追偿。”

付建认为，小区物业有责任确保小区的安全和秩序，包括采取措施防止狗咬人事件的发生。如果小区物业没有采取必要的安全措施，或者没有对违规养狗行为进行管理，导致狗咬人事件发生，小区物业可能要承担相应法律责任。

李宝莲表示，物业有安全保障义务，如果小区物业没有采取必要的安全措施，或者没有对违规养狗行为进行管理，要承担补充责任。在物业承担了相应赔偿后，还可以提起追偿权诉讼，要求狗主人赔偿。这是为了保障受害者在第一时间可以向多个责任主体去索赔。

焦点三：

饲养“禁养犬种”会有什么后果？

根据通报，咬伤女孩的是罗威纳犬。公开资料显示，罗威纳犬是犬科犬属下的动物，身体强壮，动作迅猛，气势强悍，被认为是世界上最具有勇气和力量的犬种之一。

据悉，目前，我国各地出台了城市养犬管理条例的城市，由于具体养犬细则由省、自治区、直辖市的人民政府制定，因此对禁养犬、限养犬的规定也不一。

记者查询发现，在北京、上海、杭州等城市，罗威纳犬被明确标明为“禁养犬”。根据《重庆市养犬管理条例》和重庆市农业农村委、市公安局制定发布的《重庆市禁养烈性犬、攻击性犬种类目录和大型犬标准（试行）的通告》，罗威纳在重庆市一般管理区和重点管理区已禁养。

不过，罗威纳犬并未在成都市禁养犬名单之中。记者查询《成都市养犬管理条例》发现，规定了22种禁养的烈

性、大型犬只种类，并无罗威纳犬。

李宝莲说，罗威纳犬虽然不在禁养名单内，但是《成都市养犬管理条例》第二十一条有概括性规定，禁止个人饲养烈性犬、大型犬。她表示，根据各地养犬管理条例，饲养“禁养犬种”或不按规定养犬，犬只会被公安机关强制收容，并对单位处 500 元以上 2000 元以下罚款，对个人处 50 元以上 200 元以下罚款。

付建称，肇事犬被抓到，根据相关法律法规，可能会进行隔离、观察、鉴定、处理等措施，情节严重的由公安机关强制收容犬只。具体的处理方式会根据当地的法律法规来确定，可能包括无害化处理或者其他相应的处理措施。

焦点四：

携带犬只出户应该遵守哪些规定？

根据《成都市养犬管理条例》，养犬人应当对犬只拴养或者圈养，妥善管理犬只；携犬出户，应将犬只装入犬笼子、犬袋或者由完全民事行为能力人使用犬绳牵领。

“狗主人的安全意识跟不上，低估了狗的危险性，才造成悲剧发生。”一名警方人士说，虽然各地出台了一些养犬相关规定，但并未引起养狗人士的重视，还应加大养犬知识宣传，通过具体案例提醒养狗人士，避免再发生悲剧。

北京市京师律师事务所刘奇奇律师表示，携犬出户最基本的原则是不对他人造成危险。因此应当确保携犬人具有完全民事行为能力，并为犬只挂犬牌、嘴罩，用犬绳（链）牵领犬只，主动避让他人。此外，不要携工作犬、导盲犬之外的犬只乘坐公共交通工具，进入学校、医院、商场设有犬类禁入标识的区域。

付建认为，小区物业应该建立健全的管理制度，对小区内的违规养狗行为进行监管和处罚，确保小区的安全和秩序。通过加强养狗管理和监管，以及加强社会公众的安全意识，最大程度地减少狗咬人事件的发生。

来源：央广网综合

记者：郭佳丽

责编：李青云